
環境報告書 2009

2009年3月期

[目次]

1. 環境報告書発行にあたり	2頁
2. 会社概要	3頁
3. 環境方針・CSR方針	4頁
4. 環境マネジメントシステム	5頁
5. 環境負荷(マテリアルバランス)	6頁
6. 環境意識・啓発	8頁
7. 法順守状況・内部監査・環境会計	9頁
8. 目的・目標の制定と活動結果	10頁
9. 社会貢献活動	11頁

本報告書の対象範囲

対象期間: 2008年4月1日～2009年3月31日

対象組織: 2009年3月時点の全組織(海外および連結子会社を除く)の環境管理活動を対象としています。

環境に関するホームページURL

<http://www.nesic.co.jp/csr/environment.html>

環境報告書発行部門 / お問い合わせ先

NEC ネットエスアイ株式会社 CSR推進部 環境推進室

03 - 5463 - 7720

発行責任者 執行役員常務 林 安男

編集責任者 CSR推進部長 大山 憲一

1. 環境報告書発行にあたり

2009年11月

執行役員常務 林 安男



地球温暖化による異常気象等、諸問題を解決する手段として、京都議定書に変わる指針を定める「国連気候変動枠組み条約締結国会議(COP15)」が12月にデンマーク・コペンハーゲンで開催されます。

国内でも省エネ法、地球温暖化対策推進法が改正され、事業者単位での温暖化対策が喫緊の課題となっています。

当社もこの地球温暖化問題に対処するため、環境問題を経営の最重要課題として取り組みを強化しております。具体的には省エネやワークスタイルの改革を目的としたオフィス改革(Empowered Officeソリューション)や省エネ照明器具の導入を実践し、高い省エネ効果を実現しました。

これらの成果は、当社の省エネソリューションとしてお客様に提供し、好評を得ております。

また、昨年10月より、当社ホームページ内にCSR情報を発信するページを新設し、環境、コンプライアンス、社会貢献等に関する最新の情報をタイムリーに掲載しています。本報告書と併せて、ご利用頂けますようお願いいたします。

今後も、ステークホルダーの皆様に対し、本報告書を始めとして多様な情報提供およびコミュニケーション機会を充実させ、誠実で信頼されるネットワークシステムやサービスの提供会社になることを目指してまいります。

今後とも、NEC ネットエスアイをよろしくお願い申し上げます。

当社CSRホームページ <http://www.nesic.co.jp/csr/index.html>



2. 会社概要

会社概要

商号 NEC ネットズエスアイ株式会社
 英文商号 NEC Networks&System Integration Corporation
 設立 1953年11月26日
 資本金 131億22百万円(2009年3月末現在)
 本社所在地 東京都品川区東品川一丁目39-9
 HPアドレス <http://www.nesic.co.jp>

事業内容

ネットワークシステムに関する、企画・コンサルティングや設計・構築など、サービスの提供および国内約300ヶ所の保守サービス拠点による24時間365日対応の保守・運用、監視サービスの提供

国内ネットワーク 2009年10月1日 現在

支社 4 ネットワーク・トータルオペレーションセンター 2
 支店 13 サービスセンター 14
 営業所 37

【沿革】

1953年11月 日本電気工事株式会社 設立
 1980年12月 商号を「日本電気システム建設株式会社」に変更
 1983年12月 東京証券取引所第二部へ株式上場
 1990年 7月 技術研修・研究施設として神奈川県伊勢原市に伊勢原テクニカルセンターを開設
 1992年 9月 東京証券取引所第一部銘柄に指定
 1993年 7月 本社を現在地(東京都品川区東品川)に移転
 1999年 7月 ISO14001認証を取得
 審査機関:(株)日本環境認証機構
 2005年10月 商号を「NEC ネットズエスアイ株式会社」に変更
 2007年 4月 NECテレネットワーク株式会社と合併
 2007年 7月 ISO14001認証範囲を変更し、NECテレネットワーク株式会社のISO認証を統合
 2007年 7月 企業向けトータルオフィスソリューション「EmpoweredOffice」を事業化
 2008年 4月 (株)ニチワ(兵庫県神戸市)を子会社とする。
 2008年 4月 東京都内に総合オペレーションセンターを開設。
 2008年11月 東京都内に統合デリバリー・オペレーション・センターを開設。

経営関連情報

決算年月	2005年3月	2006年3月	2007年3月	2008年3月	2009年3月
[連結経営指標]					
売上高(百万円)	198,625	213,672	254,641	258,212	249,070
経常利益(百万円)	4,750	5,982	7,860	10,423	11,211
従業員数(名)	4,199	4,897	6,407	5,817	5,906
[単独経営指標]					
売上高(百万円)	192,447	191,135	189,498	237,893	225,943
経常利益(百万円)	4,406	5,035	4,736	10,174	10,504
資本金(百万円)	13,122	13,122	13,122	13,122	13,122
従業員数(名)	2,877	2,913	2,920	4,228	4,154

[報告対象組織] 関係会社を除く当社全組織(海外に関わる事業活動は含まず)
 [報告対象事業所] 本社および首都圏8事業所、4支社、13支店、37営業所
 [対象期間] 2008年4月1日～2009年3月31日
 [報告書発行日] 2009年12月1日 [次回発行予定]2010年10月
 [参考にした環境報告書に関する基準] 環境省・環境報告書ガイドライン
 [作成部署] CSR推進部環境推進室 [連絡先] 03-5463-7720
 [報告対象の変化] エネルギー管理対象事業所に1拠点追加(神奈川県川崎市・中丸子ビル)

3. 環境方針・CSR方針

環境方針

基本理念

NEC ネットエスアイは、情報化社会のシステムインテグレーターとして、全社員が「地球にやさしい事業活動」に取り組み、環境と調和する企業を目指し豊かな社会の実現に貢献します。

行動指針

NEC ネットエスアイは、環境との調和を経営の重要課題の一つとして、社員一人ひとりが、以下の環境保全活動を推進します。

- (1) 情報通信システムのコンサルティングから企画、設計、資材調達、ソフト提供、施工、保守運用までをインテグレートする活動、製品およびサービスの全領域において、環境に影響を与えていていることを認識したうえで、技術的・経済的に可能な限り環境の向上に努める。
- (2) 環境汚染を未然に防止するとともに、継続的な改善をはかる。
- (3) 環境関連法令、協定およびその他要求事項の遵守、環境に影響を与えるおそれのある活動、製品およびサービスを管理する。
- (4) 環境方針に基づく管理活動を展開するにあたり、年度目的・目標を定め、活動、製品およびサービスの各段階で省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減などを推進する。かつ、その施策を環境マネジメントプログラムの中で実行し、改善をはかる。
- (5) 環境方針を文書化し、全社員へ周知するとともに、環境マネジメントシステムにより実施し維持する。
- (6) 環境方針は、広く公開するとともに、地域社会に貢献する。

2008年4月1日

代表取締役執行役員社長

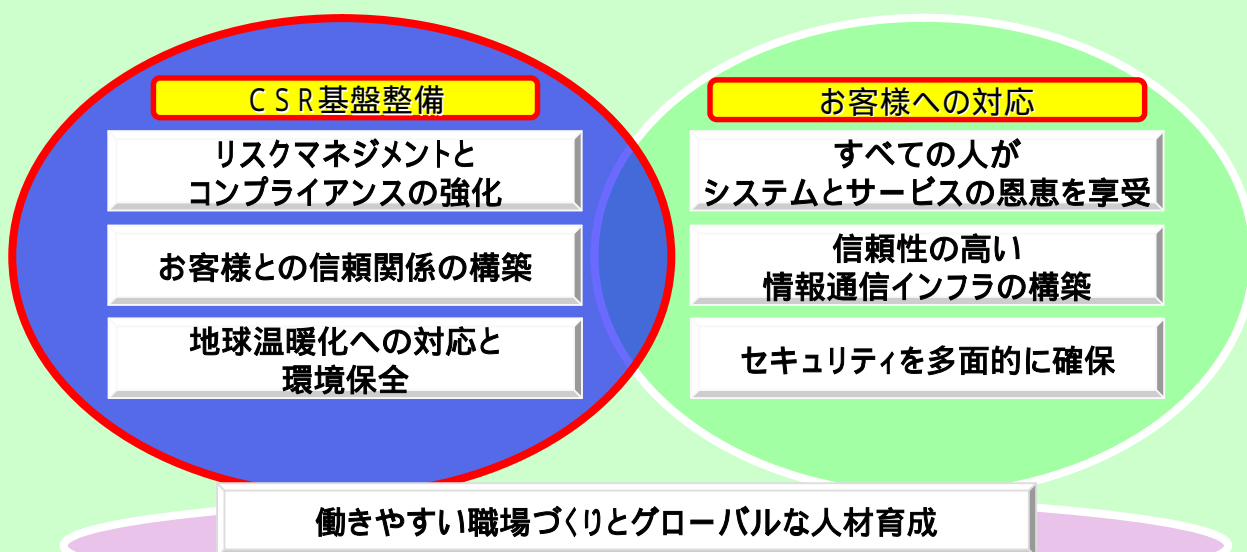
山本 正彦

CSR方針

コンプライアンスを最優先し、事業活動を通じて社会の課題解決に取り組み、健全な収益の向上を図り社会へ還元することにより、各ステータスホルダーとの信頼関係を構築します。

当社が取り組んでいる7つのテーマ

当社を取り巻くステークホルダーおよび社会にとって、重要な課題やニーズを明確にし、優先的に取り組む7つのテーマを選定しました。

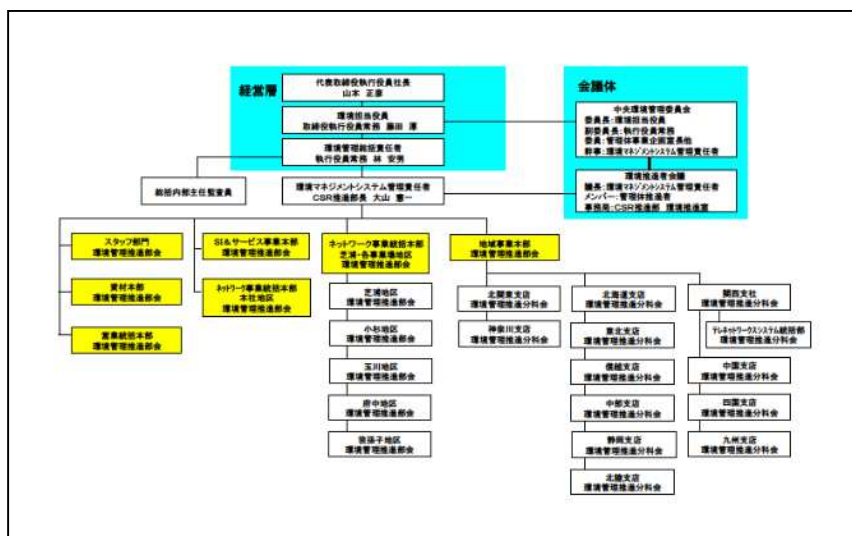


4. 環境マネジメントシステム

運営体制

当社は、環境管理を経営の最重要課題の一つとして、環境管理推進のためのしくみ・体制を強化しています。具体的には、中央環境管理委員会(委員長:環境担当役員)において、全社の環境戦略・方針を審議、決定し、重点課題に対するフォローアップを行っています。また、下部機関としてCSR推進部長(環境マネジメントシステム管理責任者)を議長として環境推進者会議を毎月開催し、環境管理活動を推進しています。

環境管理組織図
2009年10月現在



ISO14001認証状況

当社は、環境マネジメントシステム「ISO14001」を1999年7月28日に認証取得しました。2008年度は、10月28日～11月6日間に更新審査(ISO9001との複合審査)を受審し、「包括的に継続して有効である」と判定されました。

- 1 審査機関 (財)日本品質保証機構(JQA)
- 2 登録日 1999年12月17日
- 3 有効期限 2008年12月16日
- 4 登録証番号 JQA - EM0640
- 5 登録事業者名
NEC ネットエスアイ株式会社
東京都品川区東品川一丁目39-9

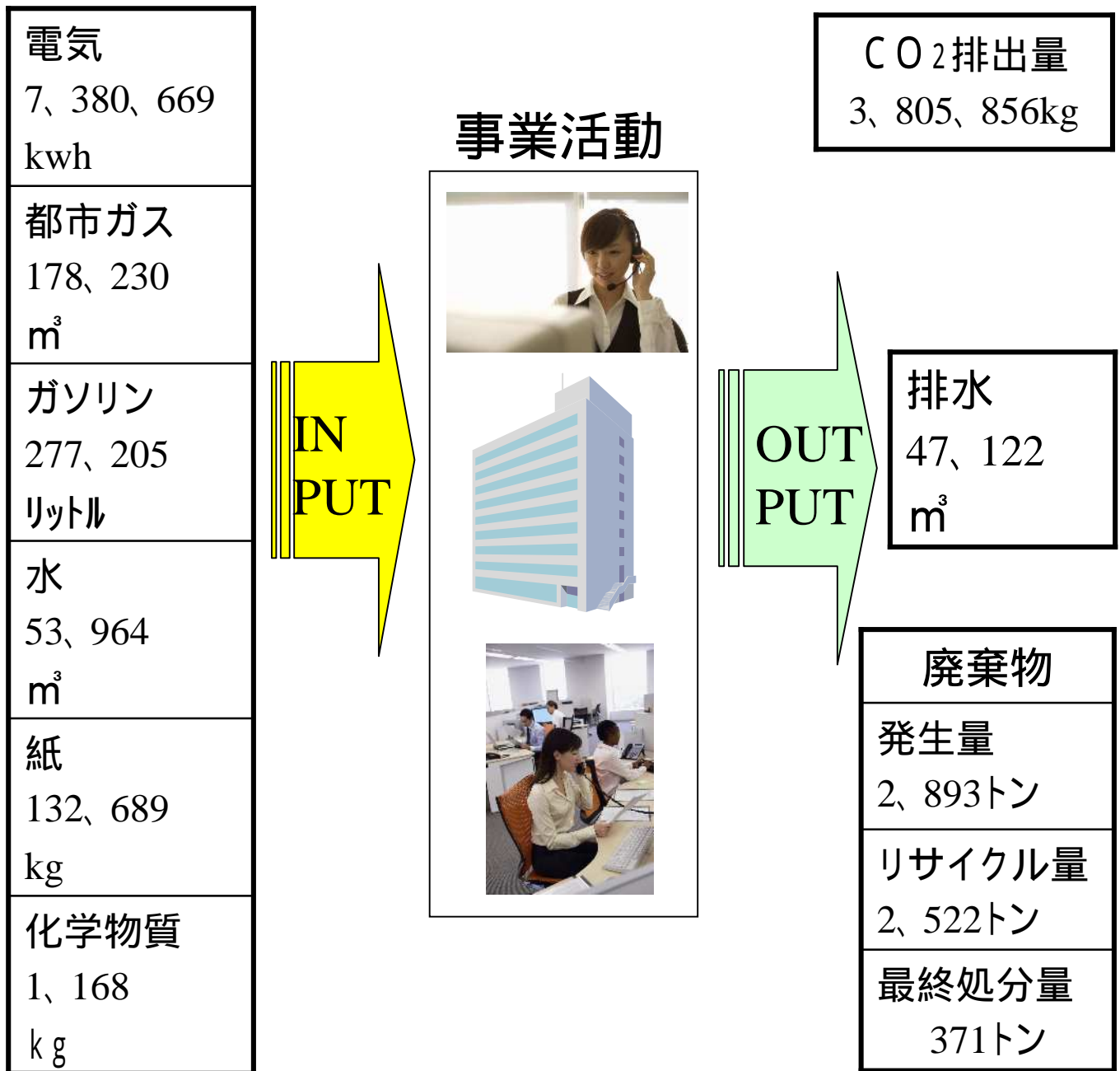


関係会社認証状況

会社名	審査機関
ネットエスアイ東洋(株)	DNV
トーヨーアルファネット(株)	DNV
(株)ニチワ	JQA

DNV: デット ノルスケ ベリタス エーエス DNVビジネスアシュアランス ジャパン

5. 環境負荷(マテリアルバランス)



電気: オフィスで使用した電力消費量
 ガス: オフィス空調で使用した都市ガス消費量
 水: オフィスで使用した上水道消費量
 紙: オフィスで使用したコピー用紙消費量
 化学物質
 鉛はんだ、塗料、接着剤等

CO₂排出: 電力、都市ガス等エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素発生量
 排水: オフィスからの生活廃水
 廃棄物発生量: 一般廃棄物 + 産業廃棄物の総量
 リサイクル量: 廃棄物を再資源化した総量
 処分量: 廃棄物を焼却処分または埋立処分した総量

2008年度より中丸子ビル(神奈川県)電力使用量を集計対象としたため前年度より増加。

[数値データ]

	単位	2006年度	2007年度	2008年度
電気	KWH	3,763,608	6,540,651	7,380,669
都市ガス	km ³	175,231	175,513	178,230
ガソリン	リットル	269,311	299,439	277,205
水	m ³	57,326	54,871	53,964
CO ₂ 排出量(上記合計)	kg	2,572,274	4,061,740	3,805,856
コピー用紙	kg	95,981	129,203	132,689
産業廃棄物発生量	トン	2,303.52	2,609.30	2,711.70
一般廃棄物発生量	トン	199.21	173.20	181.77
産業廃棄物リサイクル量	トン	1,919.05	1,923.08	2,340.13
一般廃棄物リサイクル量	トン	186.43	169.07	181.77
産業廃棄物処分量	トン	384.47	686.22	371.57
一般廃棄物処分量	トン	12.79	4.13	0.00
廃棄物発生量	トン	2,502.73	2,782.50	2,893.47
廃棄物リサイクル量	トン	2,105.48	2,092.15	2,521.90
廃棄物処分量	トン	397.26	690.35	371.57
廃棄物リサイクル率	%	84.1	75.2	87.2

年度別CO₂排出係数推移

		2006年度	2007年度	2008年度
電気	kg-CO ₂	0.410	0.453	0.373
都市ガス	kg-CO ₂	2.190	2.190	2.190
ガソリン	kg-CO ₂	2.320	2.320	2.320
水	kg-CO ₂	0.36	0.36	0.36

電気CO₂排出係数は電気事業連合会資料より参照

6. 環境意識・啓発

環境経営を推進するためには、トップのリーダーシップとともに、従業員の高いスキル、意識、行動が重要な要素となります。当社は従業員に対して様々な角度から環境意識・啓発に努めています。

エコカー導入およびエコドライブ推進

当社では、従来より、低燃費・低排出ガス認定車両の導入を進めており、ほぼ100%の車両を低燃費車(国土交通省・低排出ガス車認定実施要領に基づく)に転換致しました。

2007年度よりハイブリッド車両への切替を推進し、2012年度までに全車両の50%強をハイブリッド車両へ転換する予定です。

2008年度に14台導入し、累計台数は15台となりました。

また、2008年度下期より「チーム・マイナス6%」が提唱するエコドライブ推進運動を開始致しました。ハイブリッド車導入およびエコドライブの徹底により、燃費を約10%向上を実現致しました。

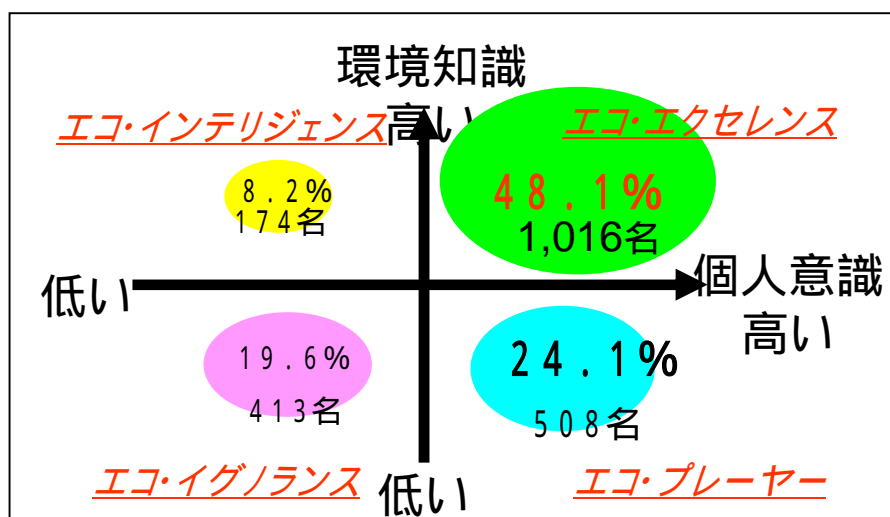
上期燃費 11.9km/リットル 下期燃費 13.1km/リットル

NECグループ環境意識調査

NECグループでは、環境と調和した持続可能な社会を構築するために、社員の環境意識向上に努めています。その状況を把握する指針の一つとして、年1回、環境意識調査を実施しています。2008年度は高環境意識層(エコ・エクセレンス層)70%を目指しましたが、48.1%と未達成でした。今後も継続して取り組みを継続してまいります。

2008年度調査結果 参加者数:2,111名

知識も行動力も高い「エコ・エクセレンス」 知識はあるが行動力の低い「エコ・インテリジェンス」
 行動力はあるが知識が低い「エコ・プレイヤー」 知識も行動力も低い「エコ・イグノランス」



7. 法順守状況・内部監査・環境会計

法順守状況

「法規制の順守」は経営の最重要事項であり、従来より企業倫理の社内体制の整備や啓発活動を推進してまいりました。

2008度は、省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)改正、東京都環境確保条例(都民の健康と安全を確保する環境に関する条例)改正を受け、社内体制の整備等にあたりました。

また、廃棄物管理に関しても、マニフェスト管理および行政報告、廃棄物処理会社現地確認などを計画的に実施致しました。

このような活動の結果、事業所周辺環境に重大な影響を与える事件・事故や環境関連法令違反、行政指導等はありませんでした。

内部監査

2008年度は、2008年10月16日～2009年3月18日の間、13サイトの内部監査を実施し、その結果は以下の通りです。内部監査の結果は、環境管理総括責任者に報告され、マネジメントシステムの改善等を実施致しました。

監査実施サイト数	評価できる点	重大な不適合	軽微な不適合	観察事項	要望事項
13サイト	38件	0件	8件	9件	37件

環境会計

2008年度の集計結果は以下の通りです。(千円)

大分類	中分類	小分類	投資額	費用
事業エリア内コスト	地球温暖化防止	地球温暖化防止対策	0	4,275
	資源有効活用	資源有効活用	0	0
	資源循環活動	廃棄物処理費用等	0	65,140
	リスク対応	遵法対応・化学物質管理	0	657
上・下流コスト	環境配慮型製品設計	環境配慮型製品設計	0	300
管理活動コスト	管理活動	環境活動に関わる人件費 ISO維持・環境監査費用	0	38,038
研究開発コスト	研究開発	研究開発に関わる費用	0	0
社会活動コスト	社会活動	社会貢献・情報公開	0	2,122
環境損傷対応コスト	その他	その他	0	0
合計			0	110,532

8. 環境目的・目標の制定と活動結果

2008年度の主な取組みと成果

	環境目的・目標	2008年度計画	2008年度実績	達成度	単位
1	産業廃棄物リサイクル率向上	86%	86%	○	
2	一般廃棄物リサイクル率向上	100%	100%		
3	電力購入量削減	7,385	7,380		MWH
4	社有車両にハイブリッド車導入	17	14		台
5	NEC環境意識調査 “エコ・イクセレンス層 70%以上”	70%	48%		
6	環境配慮型製品(エコシンボル) NEC APEX SV7000販売促進	81台	106台		
7	クライアントPC引取り修理サービス	2,700台	3,480台		
8	特別管理産業廃棄物監視システム販売促進(新規契約台数)	20台	20台	○	
9	オーバーホール実施による CO2排出量削減	150,000kg	127,290kg		

2009年度の主な取組み

指標	取組み
地球温暖化防止	電力使用量削減、社有車両のエコカー導入推進、物流の環境負荷低減 省エネ法、温対法改正対応準備
資源循環	一般廃棄物・産業廃棄物のリサイクル率向上
資源有効利用	デジタル複合機による紙情報の電子化、ペーパーレス会議の実施推進
エコソリューション推進	照明設備の省エネソリューション、ルーティンASPサービス等推進
環境マネジメント	品質ISOとの複合審査実施
人材育成・意識啓発	アンケート調査による高環境意識層の拡大

9. 社会貢献活動

当社は、健全な社会発展のため、地域社会を始め、すべてのステークホルダーに対して「できることから少しずつ」を合言葉に様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

書き損じはがき、使用済みプリペイドカード、切手等の寄贈

当社では、従業員に呼びかけ、書き損じはがき、使用済みプリペイドカード、切手を収集し、各法人に寄贈しています。寄贈された書き損じはがきは換金され、また、使用済み各種プリペイドカード、切手は、愛好家の方々に販売され、それぞれの法人の活動の一助になっています。2008年度は収集対象品にメータースタンプ(切手の代わりに、朱色で郵便料金と日付が刻印されているもの)を追加しました。

2008年度の収集実績は以下の通りです。

収集した物品	数量	寄贈先
書き損じはがき	187枚	社団法人 日本ユネスコ協力連盟(注1)
使用済みプリペイドカード	11,689枚	財団法人 ジョイセフ [家族計画国際協力財団](注2)
メータースタンプ	2,450枚	
使用済み切手	9.6kg (34千枚相当)	社団法人 日本キリスト教海外医療協力会(注2)

(注1)「世界寺小屋運動」として開発途上国の人たちの識字教育に役立てられます。

(注2)開発途上国での妊産婦の健康保持活動に役立てられます。

(注3)海外への保険医療従事者の派遣活動に役立てられます。

エコキャップ回収活動

2007年8月よりエコキャップ回収運動を開始し、2008年度からは首都圏主要事業所に回収の輪が広がりました。



2008年度実績

回収個数	重量	CO2削減量	ワクチン購入量
296,944個	742kg	2,375kg	371人分

ペットボトルキャップをリサイクルする事により、8g-CO₂/個の二酸化炭素が削減されます。また、キャップ800個で1人分のワクチンが購入できます。

当社の社会貢献活動の詳細は<http://www.nesic.co.jp/csr/contribute.html> でご覧になれます。



・品川区エコクリーン事業所認定

東京都品川区では「環境と共生するまち しながわ」の実現に向け、環境にやさしい事業所を認定しています。

当社も「地域との共生」を推進しており、本社事業所(東京都品川区)は「エコクリーン事業所」として認定されています。

NEC ネットエスアイ株式会社

〒140-8620 東京都品川区東品川一丁目39-9

発行責任者 執行役員常務 林 安男

編集責任者 CSR推進部長 大山 憲一

発行 2009年11月5日

問合せ先 CSR推進部 環境推進室

TEL (03)5463-7720